



応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪

令和元年 10 月 1 日発行

あい風通信

42号

(学びのスタンプ通算 49 号)

学長就任のごあいさつ



いしかり市民カレッジ学長 加藤 龍 幸

このたび、田岡前学長の後を受け、いしかり市民カレッジの学長に就任いたしました石狩市長加藤龍幸です。

いしかり市民カレッジは、今年、発足 11 年目となりました。この間、市民と教育委員会が協力し合い、魅力ある講座の実施など、市民の期待にこたえる活動が展開されてきました。このユニークな市民協働の取り組みによって学びの輪が広がり、多くの市民に学びを通じた生きがいを提供し、ひいては「石狩」への愛着を深めていただいていると存じます。

いしかり市民カレッジがこれからも皆様に親しまれ、本市ならではの「生涯学習の礎」として発展を続けることができるよう、学長として取り組んでまいりたいと存じますので、多くの皆様のご支援とご協力、そしてご参画を心よりお願い申し上げます。

10～11 月主催講座の紹介

講座 10「石狩における明治・大正期の輸送～その歴史と時代背景～」 花川北コミュニティセンター

講 師 酪農学園大学教授 北海道産業考古学会会長 山田 大隆 時間 10:30～12:00

第 1 回「石狩川船運・治水事業の歴史的役割と港湾建設・鉄道誘致の計画とねらいとは何か」10 月 1 日(火)

第 2 回「石狩開拓においての大友・岡崎による運河はどのような役割を持っていたか」10 月 8 日(火)

明治に入り札幌に開拓使がおかれ北海道の開拓が進んだ。当時内陸部の開拓のため物流の拠点として石狩川の舟運が重要な役割を果たしていました。また、河口部においては港湾の設置計画や鉄道誘致についても何度も計画されました。この度は石狩川舟運・治水事業の歴史的役割と港湾建設・鉄道誘致の計画とねらい、石狩開拓における大友亀太郎・岡崎文吉による運河の役割について講義いただきます。

講座 11「北海道の美術を学ぶ旅～木田金次郎の岩内を訪ねて～」

日 時 10 月 16 日(水)8:30～17:30 集合 石狩市公民館 申込締切 10 月 2 日終了

作家有島武郎と運命的出会いをし、「生まれ出づる悩み」の主人公として知られるようになった木田金次郎。後に立派な画家となり故郷の岩内で絵を描き続けます。木田金次郎美術館は、岩内町民主導により開館された美術館です。また、岩内郷土資料館は『松浦武四郎真筆』の扁額や水上勉の小説『飢餓海峡』の資料が所蔵されています。石狩市と同じように漁業で栄えた岩内町を訪ねます。

講座 12「新渡戸稲造の世界」

講 師 北海道大学名誉教授・農学博士 三島 徳三 花川北コミュニティセンター

時間 10:30～12:00
第 1 回「新渡戸稲造は何をしたか～その生涯と仕事～」10 月 23 日(水)、第 2 回「新渡戸『武士道』と『日本人の精神論』」11 月 6 日(水)、第 3 回「新渡戸稲造が現代に示唆するもの」11 月 20 日(水)

北海道にゆかりの深い新渡戸の人物像、功績、精神文化論(武士道)等を学び、現代へ通じる身近な提言として捉える機会となることを願って企画しました。新渡戸稲造は文久 2 (1862) 年盛岡南部藩士の 3 男として誕生。明治 6 (1873) 年東京外国語学校入学。明治 10 年に札幌農学校に入学。明治 14 年農学校卒業後、開拓使御用掛、農商務省御用掛を経て、明治 16 年東京大学入学。翌 17 年に東大退学後、アメリカおよびドイツの大学に留学し 7 年間を過ごしました。その後の活躍等は講義の中では是非ご確認ください。

講座 13「食と健康の関りを考える」

花川北コミュニティセンター

講 師 北海道大学大学院医学研究院 教授 玉腰 暁子 11 月 29 日(金)10:30～
私たちは食べる事によって身体を作り健康を維持し活動することが出来ています。食べることは日々の積み重ねです。しかし、普段の食生活ではその事をあまり意識することなく、嗜好に任せて好きなものを食べたり、単に空腹を満たすために食べたりする事もあります。これまでに明らかになっている食と健康の関係について学ぶとともに、健康情報の読み解き方を考えます。

市民カレッジデータ
(9月24日現在)

○登 録 者～204 人

○連携団体～107 団体



ロゴ制作者

丸山英里子さん

まちの先生企画講座の紹介

講座3 「おいしい珈琲教室」 講師 徳光珈琲店主 徳光 康宏

会場 花川北コミュニティセンター調理室 申込締切 10月15日(火)

第1回 基本知識①～基本産地2品種飲み比べ 10月29日(火)

第2回 基本知識②～同じ産地品飲み比べ 11月12日(火)

第3回 抽出応用編～焙煎の違う3品種飲み比べ 11月26日(火)

時間

14:00～15:30



日頃何気なく飲んでいる珈琲は、その品質がいかに大切かを知るだけでよりおいしい物を選べるようになります。上質な珈琲はどのように抽出すべきか、3回に分けて飲み比べながらその本質を学びます。

◇ボランティアスタッフ募集説明会を開催します

「いしかり市民カレッジ」では運営のお手伝いをして頂くスタッフを募集しています。募集に先立ち説明会を次の通り行いますのでお気軽にお越し下さい。

日時 10月24日(木) 1回目 13:30～

2回目 18:30～

※いずれも1時間程度で、どちらかご都合の良い時間でご参加下さい。

会場 花川北コミュニティセンター

◇いしかり市民カレッジ夏季交流会を行いました！

7月25日(木)、恒例の市民カレッジ夏季交流会を「サスイシリの森」で行いました。参加者はこれまで最多の32名で、うちカレッジ生は9名、連携団体は2名でした。これまでカレッジ生の参加は5名程度で、連携団体の参加はありませんでした。運営委員以外の方が大勢参加されるのは、嬉しいかぎりです。おかげで、日頃はなかなか聞けないカレッジへの要望などをビールで喉をうるおしながら本音で聞くことが出来て大変すばらしい交流会となりました。交流会で充分英気を養ったので、スタッフ一同気分一新、年度後半の活動に励んでいきたいと思えます。



第20回修了証授与式を行いました

9月18日(水)午後12時30分から市庁舎ロビーで修了証授与式を行いました。受証者は7名(出席者6名)でした。学長の加藤龍幸市長より受証者一人ひとりに修了証が手渡され、お祝いと激励のご挨拶を頂き関係者と記念撮影を行い終了しました。



その後4階会議室に移り、鎌田教育長のお祝いの言葉で懇談会をスタート。テーブル毎にケーキと珈琲を囲んで交流し、受証者の感想や目標などが語られ、1時30分過ぎに終了しました。受証者は下記の方々です。

- ・ブロンズ(30講座) 大谷 峻
- ・ゴールド(90講座) 伊藤征治 小笠原光治
- ・スーパーゴールド(150講座) 立田節子
- ・スーパーダイヤモンド(300講座) 村山耀一
- ・マスター500(500講座) 石井滋朗
- ・マスター700(700講座) 藤村信雄

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見を要約して紹介しています

講座4 「青年・大人の発達障害を考える」

「自分の話が相手にしっかり理解してもらえるのが不安なので、ついつい人をさける様に生活してしまいます。こんなに長く生きてきましたが今日の講座のおかげで、少しは自分自身を理解できるものと思います。ありがとうございました」「今日は、とても良い話を聞けて良かったです。自分のまわりによく見る現象を障害とは考えずに、その人の個性、性格だと考えていました」

講座5 「石狩歴史散歩～生振地区・浜益地区」

第1回「初めての生振で知らない事だらけでしたがよく理解できた。又春光寺では住職自ら教えて頂きありがとうございました」「歴史がある街とはいえ感激しました。石狩川の苦労が少しわかったような気がします」
第2回「陣屋跡を整備されたご苦労に感謝です。やっと全体のイメージがつかめた気がします。何度来ても新しい発見があり感謝です」「充実した1日に感謝！素晴らしい講座でした。ていねいな資料、わかりやすい解説、佐藤氏の解説内容、歌声あり、感動しました」

講座6 「夕張を訪ねて」

「夕張が少しずつ元気を取り戻していることを実感しました。石炭博物館は見ごたえがあり、火災の部分は残念ですが、行っていない人に勧めます。夕張を応援したいです」「夕張が財政破たんした後、まさに身を切る思いの財政改革を実践している姿は、全国の自治体をはじめ、行財政のマニュアルになると思う。市債、道債、国債などで、問題を次世代に先送りしてはならない」

講座7 「発展する石狩湾新港の役割」

「最新のAGF（無人フォークリフト）を見ることができ感動です。パールライス工場も仕組みがよくわかりました。地元でありながら、なかなか見ることができませんが、よい機会で感謝です」「（株）エースの無人ロボット化はビックリです。ホクレンの各工程の管理の徹底には感心しました。とても実のある見学でした。ありがとうございました」

講座8 「日高路の旅～むかわ竜とアイヌ文化の里を訪ねて～」

「長距離のバス移動での講座でしたが、途中飽きることなく過ごすことができました。スタッフの方の車中での説明は大変味わいの深いお話でよかったです」「補助席のローテーションは旅の楽しみも増え、いいものだと思います」「二風谷では、アイヌの方々の素晴らしい技術、美意識の高さに感心させられました。チセ内での実演の方々との会話も楽しかったです。恐竜が新種になった日、地震一周年の日、記憶に残る一日でした」「心配した雨にもあわず楽しい一日でした。ありがとうございました」

まちの先生企画講座1 「大人のための絵本セラピー」

「絵本は大人にとっても良いと聞いていましたが、今回の講座で再認識しました。有難うございます」「奥の深い絵本の紹介をしていただき、立ちどまって考えてみる機会を与えてくださり、有難うございました。感謝です」「絵本をよんでもらう。おだやかな時間が流れるようです。耳に心地良い、心に心地よい時間。読む方も読んでもらう方も感動を共有できる。想像力がふくらんでくと～～。声のあたたかさから広がる世界を大事にしていきたいと思いました」

まちの先生企画講座2 「女性のための初心者健康マージャン」

「とても興味深く熱中して取り組みました。初めて会う方々とも仲良く会話をすることができ、とても楽しいひと時を過ごさせて頂きました。この様な機会を計画して下さいありがとうございます」「4人でコミュニケーションをとり、手先を使い、頭をつかい、老化防止にとっても良く、続けたいと心から思いました」「分かりやすい解説で大変楽しく学べました。パイの並べ方5,3,3、得した気分」「マージャンは奥深い！難しさを感じています」

チョコっと いしかり学

《10》

輪島塗のふるさと北前船でつながる石狩の友好都市

石狩市郷土研究会事務局長 石 黒 隆 一

旧厚田村は、北前船でゆかりのある石川県門前町（現輪島市）に毎年、中学2年生を派遣していました。平成17年の合併直前に訪問した子どもたちは、天領黒島北前船資料館に残る道具や模型に見入り、海に接した廻船問屋角海家の壮大で美しいたたずまいから当時の繁栄を実感しました。

その2年後、平成19年3月にマグニチュード6.9の能登半島地震が発生し、黒島地区は、廻船問屋角海家が全壊するほどの大被害を受けました。地震からの復興の中心となったのが黒島地区会長・川端一人さんでした。黒島生まれの川端さんは、北前船乗りの血を引いて船乗りになり、世界の海を航海された後、黒島に戻って地域振興に尽力されていました。川端さんは、産業復興だけでなく、北前船の里としての地域の誇りを復興する象徴として文化財・角海家の再建に力を入れました。巨大な梁や割れずに残った黒瓦を再利用し、折れた柱は、新材と合わせるなど工夫を重ね、4年をかけて再建されたのです。



復興後の平成24年、輪島市は、石狩市と「友好都市提携」を行いました。その後、石狩市では川端さんをお招きして貴重な経験をお話いただきました。

平成30年、北前船寄港地船主集落として両市は同時に日本遺産に認定されました。

北前船の時代から現在まで結ばれてきた両市の絆が、更に未来を切り拓くことを期待したいと思います。

☞（写真）^{かどみけ}《角海家と川端さん》

石狩の風物

従来、旧石狩市、厚田村、浜益村は、それぞれ市村の木としてナナカマド、トドマツ、サクラを選定していましたが、平成17(2005)年の市村合併を機に見直しが行われました。選定は市民の意見を聴いたうえ「市民憲章等検討会議」で行われました。市民の意見には、カシワは浜益には馴染みがなく、木単体ではなく開拓者の遺産でもある防風林や新日本名木100選に指定されている千本ナラが良い、などがありました。

市民の意見を踏まえて検討の結果、小樽市銭函から石狩市厚田区望来まで約20km続く海岸林は、天然のカシワ林として日本一と云われる規模を誇ることから、石狩の木にふさわしいとして、カシワが選ばれました。

また、カシワは春の新芽が芽吹くまで前年の葉が落葉しないことから子孫が代々繋がるおめでたい木とされています。

（文 石井滋朗）

石狩の木～カシワ



編集後記

開学以来10年間学長として石狩への熱い情熱を語り、カレッジ発展にご尽力いただいた田岡克介前市長が退任し、新学長に就任された加藤龍幸市長に新たな期待が高まります。当カレッジは市民ボランティアの運営委員と教育委員会の協働で進められ、会員のご希望に応えるよう運営しています。現在は新しい運営委員と次年度の講座テーマを募集中です。受講だけでなく一緒に講座をつくることからの積極的参加を期待します。

〔三上（富）〕

■ 発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：鈴木、石井、太齋、徳田、三上、光川

■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42 TEL&FAX：0133-74-2249

ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)